

令和5年度水道事業会計当初予算（案）



令和5年3月1日
八戸圏域水道企業団
経営審議会

もくじ

1. はじめに 3
2. 業務の予定量 4
3. 予算の概要 8
4. 収支状況図 16
5. 主要な事業計画 17
6. 財政計画比較 24

1. はじめに

「第4次水道事業総合計画」の中期実施計画である
「第11次財政計画」の初年度

第4次水道事業総合計画 ～はちのへ水ビジョン2019～ (R元年度～R10年度) 【R5年2月 第1回改定】			
前 期	中 期		後 期
実 施 計 画			
第10次 財政計画 R元年～R4年度 (4年間)	第11次 財政計画 R5年度～R7年度 (3年間)		第12次 財政計画 R8年度～R10年度 (3年間)
	R5年度	R6年度	

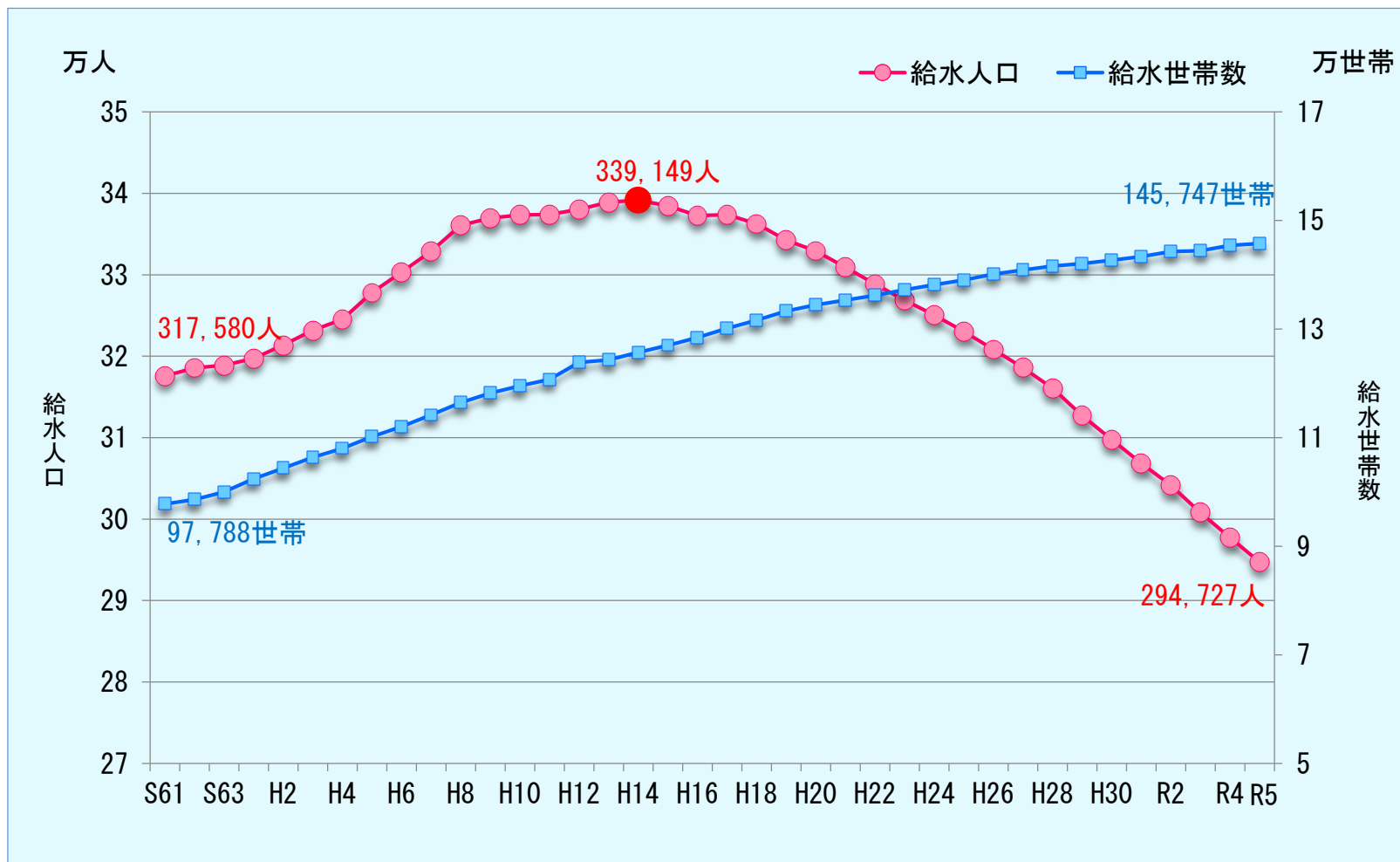
- ・第4次水道事業総合計画（第1回改定版）の実施計画として、令和5年度から令和7年度まで3年間の「第11次財政計画」を策定しました。

2. 業務の予定量

区 分		5年度 当初予算	4年度 決算見込み	増 減	増減率 (%)
① 給 水 人 口	(人)	294,727	297,728	△3,001	△1.01
② 給 水 世 帯	(世帯)	145,747	145,390	357	0.25
③ 年 間 配 水 量	(千m ³)	29,302	29,463	△161	△0.55
④ 年 間 有 収 水 量	(千m ³)	26,650	26,797	△147	△0.55
⑤ 有 収 率	(%)	90.95	90.95	0	—
⑥ 一 日 最 大 配 水 量	(m ³)	91,000	^{12月31日} 87,666	3,334	3.80
⑦ 一 日 平 均 配 水 量	(m ³)	80,060	80,721	△661	△0.82

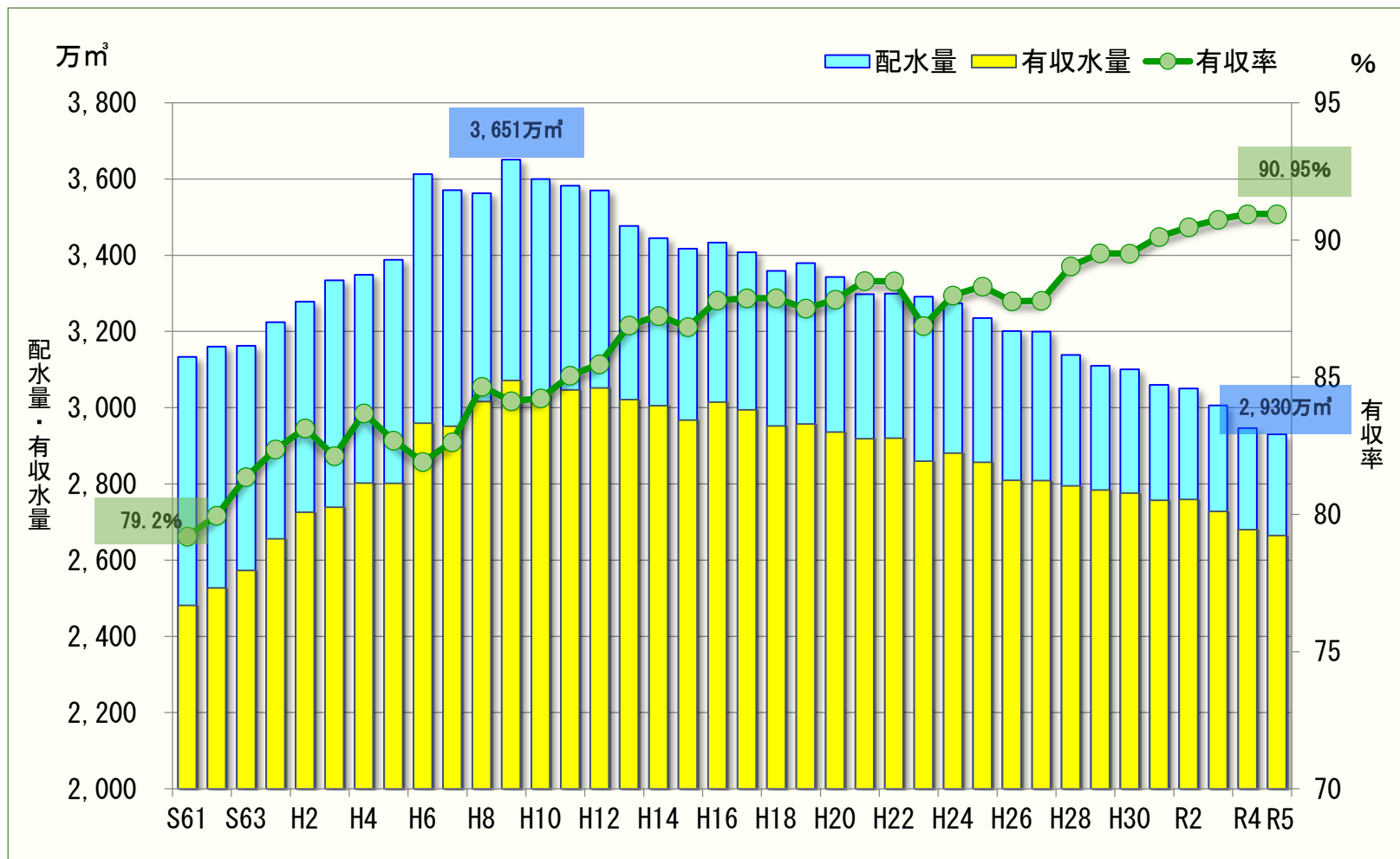
令和4年度の最終予算

①給水人口 ②給水世帯の推移



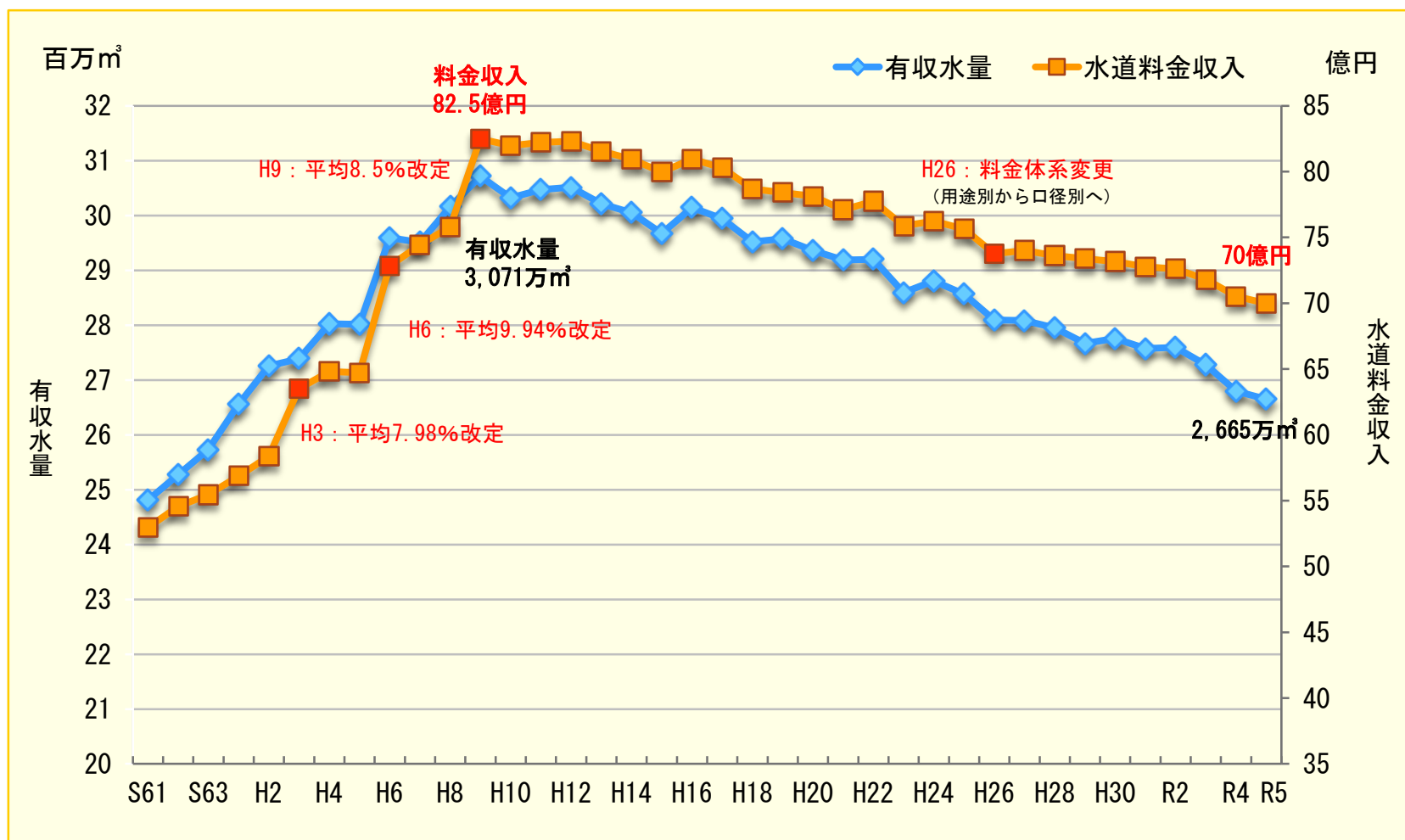
給水人口は、昭和61年の企業団発足時から平成14年度までは増加していましたが、以降は減少に転じ、令和5年度も同じ状況が続くと見込み、294,727人を予定しました。平成14年度と比較し、約13% 44,422人の減少となります。一方、給水世帯は、減少に転じた町もありますが、企業団全体ではまだ増加しています。

③年間配水量 ④年間有収水量 ⑤有収率



年間配水量は、平成9年度の3,651万m³を最大に減少しており、有収水量も同じく減少しています。有収率（有収水量/配水量）は令和元年度に90%を超え、上昇しています。

「有収水量」と「料金収入」の推移



料金収入は、平成9年度の82億5千万円を最高に、有収水量の減少により年々減少しています。令和5年度は、令和4年度と比べ約5,300万円（消費税抜き）減収となる見込みです。

3. 予算の概要

(5年度当初予算と前年度比較)

①収益的収支 上水道事業収益

(単位：千円)

款	項	目	決算見込比較				当初予算比較			備 考
			5年度 当初予算	4年度 決算見込	増 減	増減率	4年度 当初予算	増 減	増減率	
1		上水道事業収益	9,036,497	9,118,286	△81,789	△0.9%	9,185,950	△149,453	△1.6%	
	1	営業収益	7,987,725	8,056,220	△68,495	△0.9%	8,141,132	△153,407	△1.9%	
		1 給水収益	7,699,062	7,757,286	△58,224	△0.8%	7,867,301	△168,239	△2.1%	水道料金
		2 受託工事収益	239	2,761	△2,522	△91.3%	4,540	△4,301	△94.7%	共同施設工事負担金
		3 その他営業収益	288,424	296,173	△7,749	△2.6%	269,291	19,133	7.1%	補償金・負担金・手数料・材料 売却収益
	2	営業外収益	1,048,772	1,062,066	△13,294	△1.3%	1,044,818	3,954	0.4%	
		1 受取利息	547	536	11	2.1%	745	△198	△26.6%	定期預金利息・譲渡性預金利息
		2 下水道業務負担金	38,745	39,948	△1,203	△3.0%	39,948	△1,203	△3.0%	電算処理業務委託料など
		3 構成団体負担金	12,476	12,515	△39	△0.3%	12,429	47	0.4%	簡易水道事業債の利息・ 児童手当に係る繰入金
		4 長期前受金戻入	891,876	891,094	782	0.1%	892,101	△225	0.0%	長期前受金の収益化額
		5 資本費繰入収益	15,931	15,667	264	1.7%	15,667	264	1.7%	簡易水道事業債の元金償還に係 る繰入金
		6 雑収益	89,197	102,306	△13,109	△12.8%	83,928	5,269	6.3%	売電収入・ペットボトル売上・ 中古メータ売却など

※増減の主な項目は補足資料1ページ

3. 予算の概要

(5年度当初予算と前年度比較)

②収益的収支 上水道事業費

(単位：千円)

款 項	目	決算見込比較				当初予算比較			備 考
		5年度 当初予算	4年度 決算見込	増 減	増減率	4年度 当初予算	増 減	増減率	
1	上水道事業費	8,352,048	8,419,987	△67,939	△0.8%	8,522,353	△170,305	△2.0%	
	1 営業費用	8,116,697	8,107,691	9,006	0.1%	8,247,520	△130,823	△1.6%	
	1 原水及び浄水費	1,295,588	1,171,734	123,854	10.6%	1,222,672	72,916	6.0%	原水の取水・沈殿・ろ過・消毒の費用
	2 配水及び給水費	1,612,024	1,848,961	△236,937	△12.8%	1,868,316	△256,292	△13.7%	配水池から量水器まで給水する費用
	3 漏水対策費	169,298	165,865	3,433	2.1%	172,499	△3,201	△1.9%	漏水防止に要する費用
	4 量水器費	293,661	293,789	△128	0.0%	319,904	△26,243	△8.2%	量水器の取替・購入などに係る費用
	5 受託工事費	240	2,767	△2,527	△91.3%	4,542	△4,302	△94.7%	共同施設に係る費用
	6 業務費	552,026	518,316	33,710	6.5%	527,891	24,135	4.6%	検針・料金の調定などに係る費用
	7 総係費	685,969	648,637	37,332	5.8%	653,917	32,052	4.9%	事業活動全般に係る費用
	8 議会費	3,776	1,958	1,818	92.8%	3,776	0	0.0%	議会運営に係る費用
	9 監査委員費	131	284	△153	△53.9%	377	△246	△65.3%	監査に係る費用
	10 減価償却費	3,403,484	3,394,880	8,604	0.3%	3,413,126	△9,642	△0.3%	固定資産の減価償却費
	11 資産減耗費	100,000	60,000	40,000	66.7%	60,000	40,000	66.7%	固定資産の除却費
	12 その他営業費用	500	500	0	0.0%	500	0	0.0%	材料売却原価
	2 営業外費用	233,351	310,296	△76,945	△24.8%	272,833	△39,482	△14.5%	
	1 支払利息	149,107	158,813	△9,706	△6.1%	158,128	△9,021	△5.7%	企業債・一時借入金・リース債務利息
	2 消費税及び地方消費税	80,174	147,413	△67,239	△45.6%	110,635	△30,461	△27.5%	消費税及び地方消費税納付予定額
	3 雑支出	4,070	4,070	0	0.0%	4,070	0	0.0%	還付金(過年度分)など
3	予備費	2,000	2,000	0	0.0%	2,000	0	0.0%	

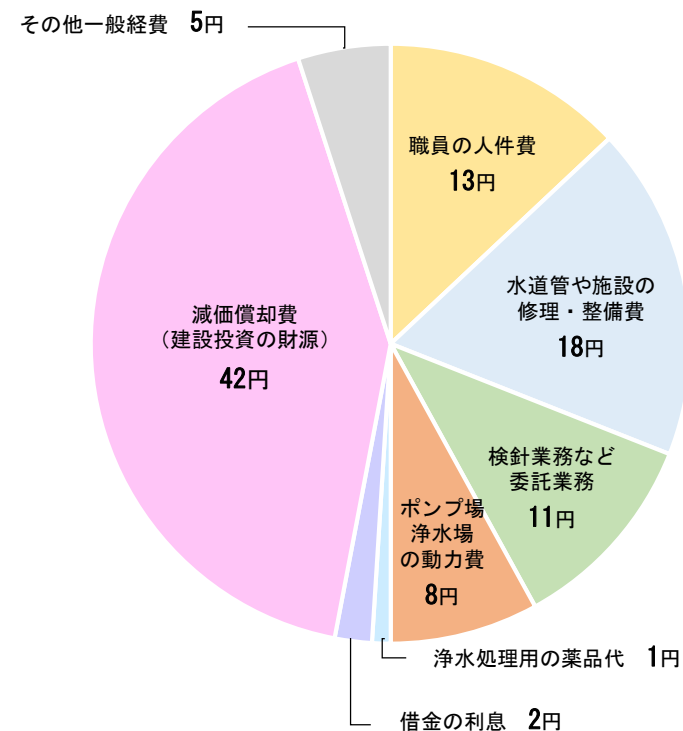
3. 予算の概要 (5年度当初予算と前年度比較)

②上水道事業費「性質別分類」比較

(単位：千円)

	5年度 当初予算	構成 比率	4年度 決算見込み	構成 比率	増減	増減率
人件費	1,096,086	13%	1,098,297	13%	△ 2,211	△0.2%
修繕費	1,466,589	18%	1,688,280	20%	△ 221,691	△13.1%
委託料	906,625	11%	999,433	12%	△ 92,808	△9.3%
動力費	664,682	8%	485,642	6%	179,040	36.9%
薬品費	120,084	1%	75,850	1%	44,234	58.3%
支払利息	149,107	2%	158,813	2%	△ 9,706	△6.1%
減価償却費等	3,503,484	42%	3,454,880	41%	48,604	1.4%
その他の経費	445,391	5%	458,792	5%	△ 13,401	△2.9%
計	8,352,048	100%	8,419,987	100%	△ 67,939	△0.8%

費用100円あたりの使い道



3. 予算の概要

(5年度当初予算と前年度比較)

③資本的収支 上水道資本的収入

(単位：千円)

款 項	目	決算見込比較				当初予算比較			備 考
		5年度 当初予算	4年度 決算見込	増 減	増減率	4年度 当初予算	増 減	増減率	
1	上水道資本的収入	1,513,650	1,520,441	△6,791	△0.4%	1,575,094	△61,444	△3.9%	
	1 企業債	850,000	830,000	20,000	2.4%	830,000	20,000	2.4%	
	1 企業債	850,000	830,000	20,000	2.4%	830,000	20,000	2.4%	企業債借入額
	2 工事負担金及び寄附金	166,784	101,814	64,970	63.8%	130,353	36,431	27.9%	
	1 工事負担金及び寄附金	166,784	101,814	64,970	63.8%	130,353	36,431	27.9%	消火栓工事・水道管布設工事負担金
	3 国庫補助金	284,460	399,949	△115,489	△28.9%	399,949	△115,489	△28.9%	
	1 国庫補助金	284,460	399,949	△115,489	△28.9%	399,949	△115,489	△28.9%	青森県生活基盤施設耐震化等交付金
	4 水道加入金	212,406	188,678	23,728	12.6%	214,792	△2,386	△1.1%	
	1 水道加入金	212,406	188,678	23,728	12.6%	214,792	△2,386	△1.1%	給水装置の新設・改造(増径)の加入金

※増減の主な項目は補足資料2ページ

3. 予算の概要

(5年度当初予算と前年度比較)

④資本的収支 上水道資本的支出

(単位：千円)

款 項	目	決算見込比較				当初予算比較			備 考
		5年度 当初予算	4年度 決算見込	増 減	増減率	4年度 当初予算	増 減	増減率	
1	上水道資本的支出	5,502,318	4,855,311	647,007	13.3%	5,187,434	314,884	6.1%	
	1 建設改良費	4,564,606	3,886,039	678,567	17.5%	4,218,162	346,444	8.2%	
	1 事務費	108,065	105,235	2,830	2.7%	107,166	899	0.8%	建設改良工事の事務に要する費用
	2 施設費	4,372,112	3,673,463	698,649	19.0%	3,999,310	372,802	9.3%	施設の改良及び配水管布設工事に要する費用
	3 リース債務支払額	58,626	54,983	3,643	6.6%	55,005	3,621	6.6%	リース債務返済額
	4 その他施設費	25,803	52,358	△26,555	△50.7%	56,681	△30,878	△54.5%	車両・器具備品購入費
	2 企業債償還金	937,712	969,272	△31,560	△3.3%	969,272	△31,560	△3.3%	
	1 企業債償還金	937,712	969,272	△31,560	△3.3%	969,272	△31,560	△3.3%	企業債償還元金

※増減の主な項目は補足資料2ページ

3. 予算の概要

上段：消費税込み
下段：（消費税抜き）

（5年度当初予算と前年度比較）

（単位：千円）

項 目		決算見込比較				当初予算比較		
		5年度 当初予算	4年度 決算見込み	増 減	増減率	4年度 当初予算	増減	増減率
収益的 収支	水道事業収益 ①	9,036,497 (8,322,558)	9,118,286 (8,397,693)	△81,789 (△75,135)	△0.9%	9,185,950 (8,456,869)	△149,453 (△134,311)	△1.6%
	水道事業費 ②	8,352,048 (7,975,852)	8,419,987 (7,973,761)	△67,939 (2,091)	△0.8%	8,522,353 (8,096,994)	△170,305 (△121,142)	△2.0%
	収支差引(①-②) 【純利益】	684,449 (346,706)	698,299 (423,932)	△13,850 (△77,226)	△2.0%	663,597 (359,875)	20,852 (△13,169)	3.1%
資本的 収支	資本的収入 ③	1,513,650 (1,494,341)	1,520,441 (1,503,289)	△6,791 (△8,948)	△0.4%	1,575,094 (1,555,568)	△61,444 (△61,227)	△3.9%
	資本的支出 ④	5,502,318 (5,135,902)	4,855,311 (4,560,483)	647,007 (575,419)	13.3%	5,187,434 (4,865,040)	314,884 (270,862)	6.1%
	収支差引(③-④)	△3,988,668 (△3,641,561)	△3,334,870 (△3,057,194)	△653,798 (△584,367)	△19.6%	△3,612,340 (△3,309,472)	△376,328 (△332,089)	△10.4%



【14ページ補てん財源】

【項目明細は8～12ページ】

3. 予算の概要

資本的収支不足額の補てん財源

(単位：千円)

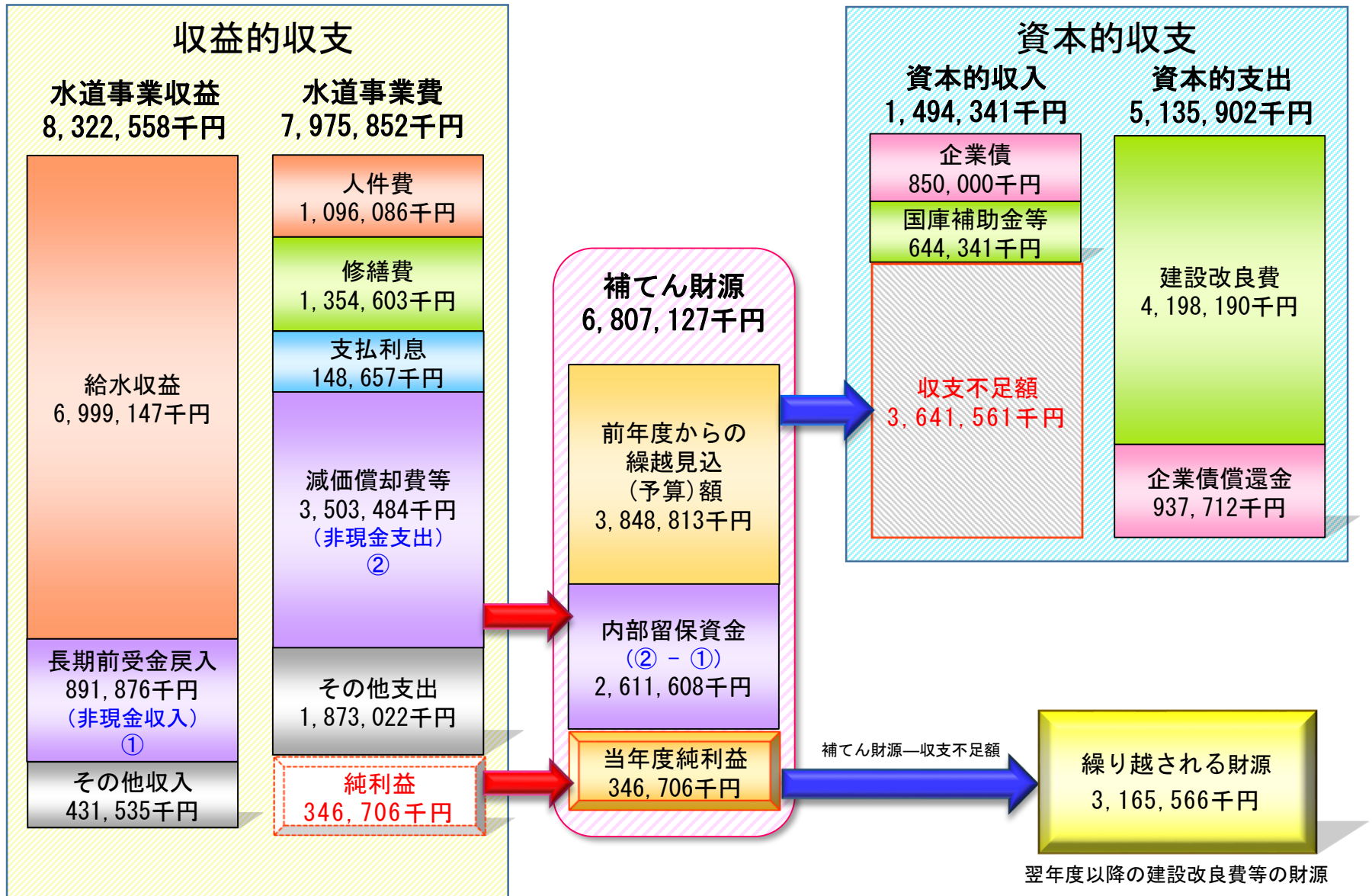
項目	現有財源	補てん使用	翌年度へ 繰り越される財源
資本的収支消費税調整額	347,107	347,107	0
当年度内部留保資金	2,611,608	2,611,608	0
建設改良積立金	1,224,881	1,029,953	194,928
水道施設機能強化積立金	2,200,000	0	2,200,000
繰越利益剰余金 (R4年度利益見込額)	423,932	0	423,932
当年度利益剰余金 (R5年度利益見込額)	346,706	0	346,706
合計	7,154,234	3,988,668	3,165,566

3. 予算の概要

総支出（②水道事業費＋④資本的支出）の内訳

1	主要な事業計画	5,499,145千円	39.7%
2	元利償還金	1,145,445千円	8.2%
3	減価償却費等	3,503,484千円	25.3%
4	人件費	1,201,396千円	8.7%
5	その他維持管理費等	2,504,896千円	18.1%
総支出		13,854,366千円	100%

4. 収支状況図



5. 主要な事業計画

5,499,145千円

第11次財政計画(R5~R7)に基づき、基本目標を達成するための事業を推進します。

安全

安全でおいしい水道水の供給と
災害に対する体制強化

52,231千円

強靱

地震等に強い
施設整備

479,776千円

持続

計画的な施設更新と
安定した水道水の供給持続

4,906,320千円

連携

多様化するニーズに対する
サービス向上と様々な連携

60,818千円

安 全

52,231千円

～安全でおいしい水道水の供給と災害に対する体制強化～

水源の保全

- ・ 世増ダム管理費用の負担
- ・ 三島浄水場水源汚染対策工事

水質監視の強化

- ・ 水質検査機器の更新

災害への備え

- ・ ボトルドウォーターの製造
- ・ 災害用備品の購入



三島浄水場



非常用備蓄水（資材備蓄センター）

強 靱

～地震等に強い施設整備～

479,776千円

施設の耐震化

- ・ 白山～蟹沢配水幹線布設替に係る測量・基本設計業務委託
- ・ 重要管路・重要給水施設管路更新工事

重要給水施設：病院（最優先医療機関：入院救急医療・人工透析・産婦人科）
学校（応急給水場所）など



持 続

4,906,320千円

～計画的な施設更新と安定した水道水の供給持続～

老朽施設の更新

- ・馬淵川系導水管更新（H29～R5継続事業）3.8km
- ・蟹沢配水幹線更新工事（R元～R5継続事業）1.3km
- ・白山浄水施設（馬淵川系）更新基本計画業務委託（R5～R6継続事業）
- ・酒美平・多賀台減圧弁及び電気設備更新工事
- ・配水管の布設・更新工事 10.6km など

施設の最適化

- ・新ひばり野配水池整備に伴う配水管布設 0.8km
- ・（仮）新小泉・（仮）新名川配水池地質調査業務委託 など

経営基盤の強化 経営の効率化

- ・ネットワーク機器等リース など

施設の保全

- ・漏水調査業務委託
- ・三島踏切横断管路更生工事 15m×5箇所
- ・大山1号配水塔ほか内面防食塗装工事 など

省エネルギーへの 取り組み

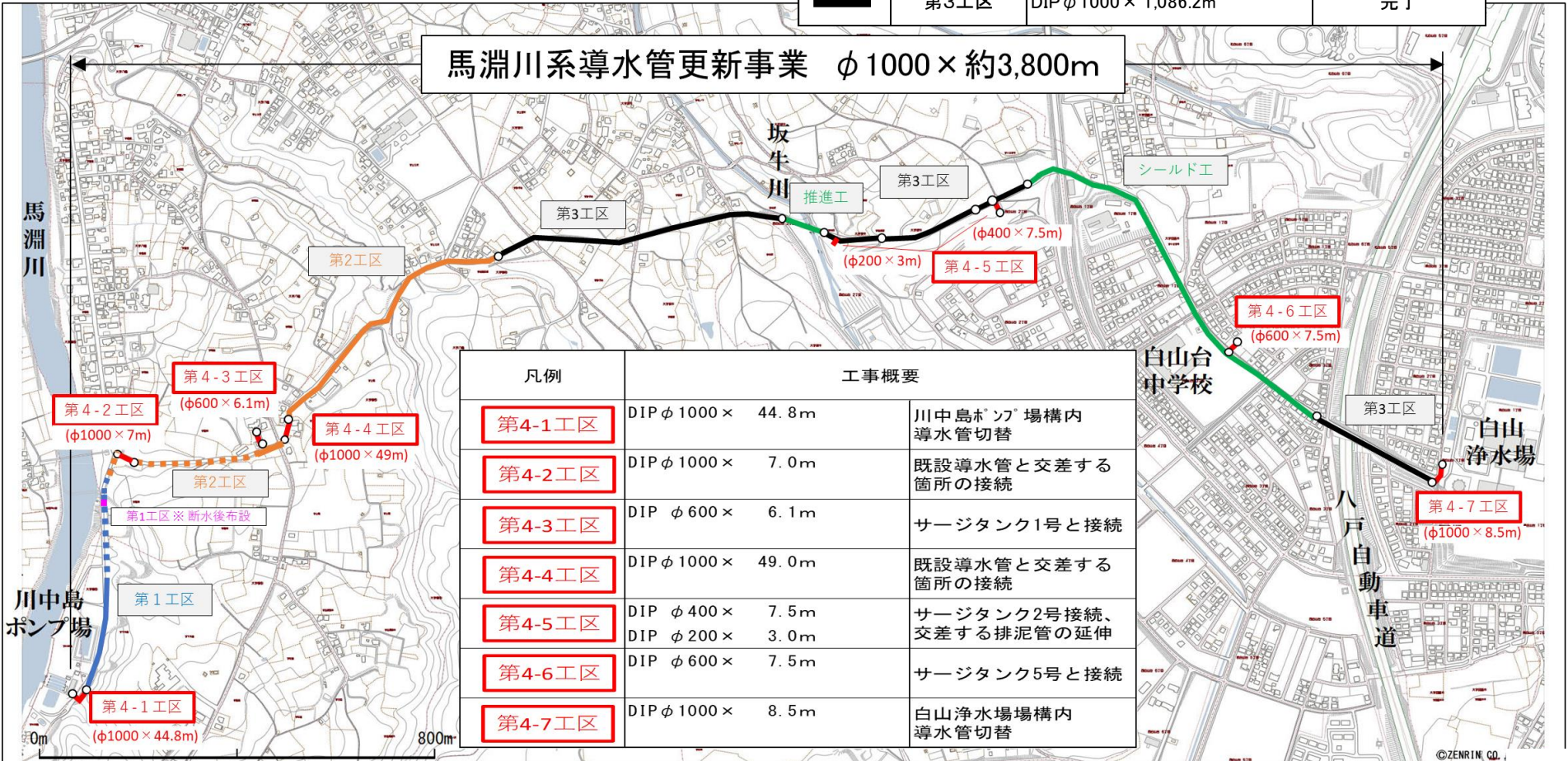
- ・汚泥収集運搬
- ・産業廃棄物処理委託
（浄水発生土リサイクル）

馬淵川系導水管更新工事 (平成29年度～令和5年度)

- 馬淵川系導水管更新事業は、現在88%の管路更新が完了しており、令和5年度の完成を目指している。
- 新しい導水管路を運用開始するには、古い管路の運用を停止(断水)して既存施設(馬淵川取水施設、白山浄水場、サージタンク)と新設の導水管路を接続切替をする必要がある。
- 第4工区は部分的に布設できないため7工区に分けて発注を行い、一斉に工事を実施することで 導水管停止期間(令和5年10月16日～12月16日)を一度のみにし、導水管更新事業を完了させる。

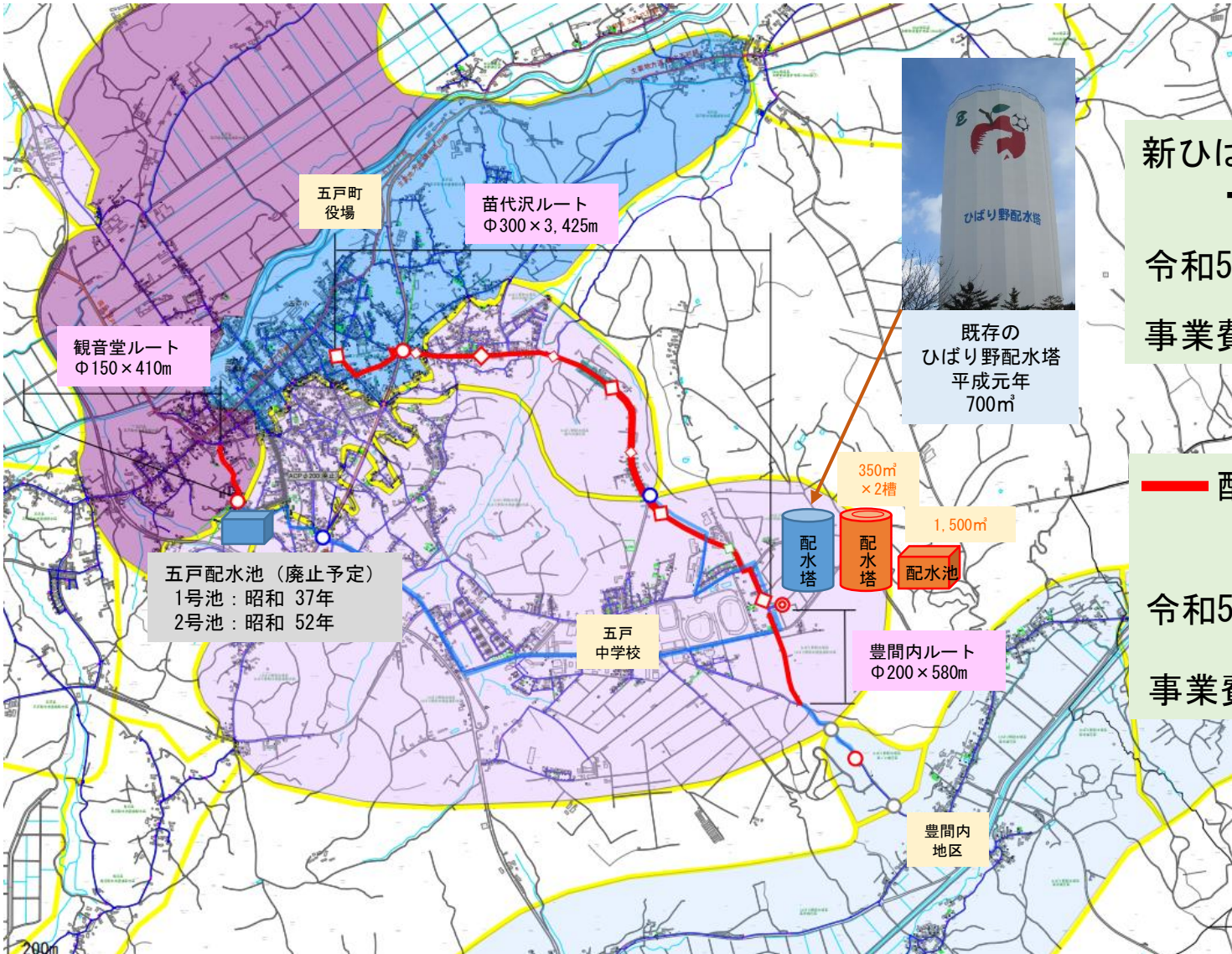
○発注済み工事

凡例	工区名	工事概要	進捗
	推進工	DIP φ 1000 × 89.6m H P φ 1350 × 79.3m (さや管)	完了
	シールド工	DIP φ 1000 × 919.0m DIP φ 1350 × 868.1m (さや管)	完了
	第1工区	DIP φ 1000 × 396.5m	施工中 【残り布設190m】
	第2工区	DIP φ 1000 × 1,096.0m	施工中 【残り布設250m】
	第3工区	DIP φ 1000 × 1,086.2m	完了



新ひばり野配水塔ほか築造工事 (令和5年度～令和9年度)

新ひばり野配水塔 (700^m³) と配水池 (1,500^m³) を築造し、五戸配水池 (1,170^m³) を廃止する。
 既存の配水塔と合わせると容量が2,900^m³となり、貯留時間30時間が確保できる。
 また、配水管の整備 (4,415m) を実施する。



新ひばり野配水塔
 ・配水池築造工事
 令和5年度～令和9年度
 事業費 23億2,100万円

— 配水管整備
 4,415m
 令和5年度～令和9年度
 事業費 8億7,648万円

連携

60,818千円

～多様化するニーズに対するサービス向上と様々な連携～

広報活動・
見える化の充実

- ・ 広報紙「おらほの水」の定期発行
- ・ ホームページによる情報発信など

お客様ニーズへの
対応

- ・ インターネット受付システム保守業務委託
- ・ スマートメーター実証試験業務委託



6. 財政計画比較

①業務の予定量比較

	項 目	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			第10次財政計画				第11次財政計画		
計 画	給 水 人 口	人	308,617	306,142	303,248	300,351	295,078	292,132	289,186
	給 水 世 帯 数	世帯	143,224	144,017	144,135	144,709	145,901	146,536	147,169
	配 水 量	千m ³	30,595	30,223	29,949	29,726	29,637	29,300	29,044
	有 収 水 量	千m ³	27,434	27,158	26,948	26,799	26,921	26,655	26,456
	有 収 率	%	89.67	89.86	89.98	90.15	90.84	90.97	91.09

	項 目	単位	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (見込み)	令和5年度 (予算)
実 績	給 水 人 口	人	306,861	304,147	300,805	297,728	294,727
	給 水 世 帯 数	世帯	143,338	144,279	144,451	145,390	145,747
	配 水 量	千m ³	30,599	30,504	30,060	29,463	29,302
	有 収 水 量	千m ³	27,574	27,596	27,280	26,797	26,650
	有 収 率	%	90.12	90.47	90.75	90.95	90.95

	項 目	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
増 減	給 水 人 口	人	△1,756	△1,995	△2,443	△2,623	△351
	給 水 世 帯 数	世帯	114	262	316	681	△154
	配 水 量	千m ³	4	281	111	△263	△335
	有 収 水 量	千m ³	140	438	332	△2	△271
	有 収 率	ポイント	0.45	0.61	0.77	0.80	0.11

6. 財政計画比較

②収益的収支比較

(単位：千円)

収益的収支		令和5年度				増減の主なもの
		計画	予算	増減	増減率	
水道事業収益①	給水収益	7,072,801	6,999,147	△73,654	△1.0%	水道料金収入の減
	長期前受金戻入×	892,124	891,876	△248	△0.0%	減価償却見合い分の長期前受金(資産の財源の補助金等)の収益化の減
	その他の収入	310,178	431,535	121,357	39.1%	道路改良工事に伴う水道管移設工事負担金の増など
	水道事業収益①	8,275,103	8,322,558	47,455	0.6%	
	水道事業費②	7,693,011	7,975,852	282,841	3.7%	
水道事業費②	人件費	1,105,013	1,096,086	△8,927	△0.8%	退職給付費(引当金計上)の減など
	修繕費	1,250,550	1,354,603	104,053	8.3%	道路改良工事に伴う水道管移設工事の増など
	支払利息	144,912	148,657	3,745	2.6%	借入利率の上昇見込みによる増
	減価償却費等Y	3,527,743	3,503,484	△24,259	△0.7%	固定資産取得額の減などによる減価償却費の減
	その他の支出	1,664,793	1,873,022	208,229	12.5%	動力費・薬品費・委託料の増など
水道事業費②	7,693,011	7,975,852	282,841	3.7%		
収支差引(純利益) (①-②)		582,092	346,706	△235,386	△40.4%	

6. 財政計画比較

③資本的収支比較

(単位：千円)

資本的収支		令和5年度				増減の主なもの				
		計画	予算	増減	増減率					
企	業	債	1,000,000	850,000	△150,000	△15.0%	建設改良事業費の減に伴う借入額の減			
国	庫	補	助	金	316,167	284,460	△31,707	△10.0%	補助対象事業費（馬淵川系導水管更新・蟹沢配水幹線更新）の減に伴う補助金の減	
そ	の	他	の	収	入	348,979	359,881	10,902	3.1%	道路改良工事に伴う水道管布設工事負担金の増など
資	本	的	収	入	③	1,665,146	1,494,341	△170,805	△10.3%	
建	設	改	良	費	4,365,462	4,198,190	△167,272	△3.8%	継続事業（馬淵川系導水管更新事業・蟹沢配水幹線更新事業費）の減など	
企	業	債	償	還	金	937,712	937,712	0	-	
資	本	的	支	出	④	5,303,174	5,135,902	△167,272	△3.2%	
収	支	差	引	(③ - ④)	△3,638,028	△3,641,561	△3,533	△0.1%		

6. 財政計画比較

④財源(運転資金)の比較

(単位：千円)

項目	令和5年度			
	計画	予算	増減	増減率
総収入 ①+③	9,940,249	9,816,899	△123,350	△1.2%
総支出 ②+④	12,996,185	13,111,754	115,569	0.9%
内部留保資金 Y-X	2,635,619	2,611,608	△24,011	△0.9%
単年度過不足額 総収入—総支出+留保資金	△420,317	△683,247	△262,930	△62.6%
前年度からの繰越金	3,546,981	3,848,813	301,832	8.5%
翌年度への繰越金	3,126,664	3,165,566	38,902	1.2%

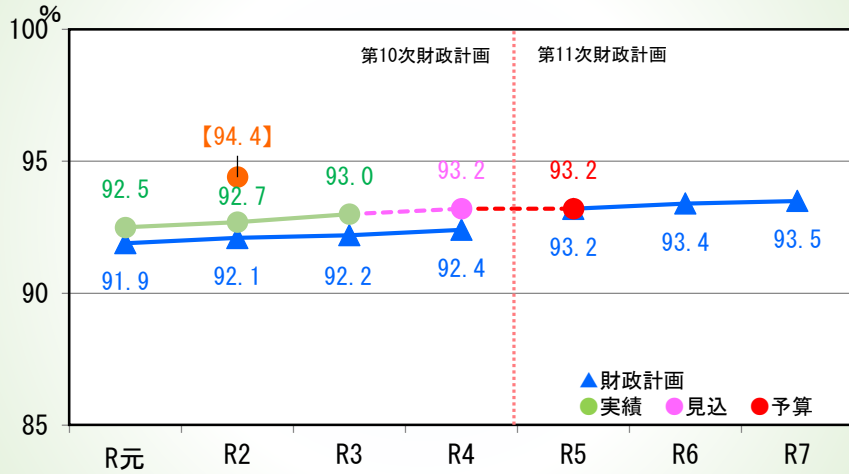
6. 財政計画比較

⑤指標比較

【●】: 令和2年度同規模平均
 給水人口30万人以上の末端給水事業
 (政令指定都市を除く)50団体の平均
 「企業年鑑・水道統計より」

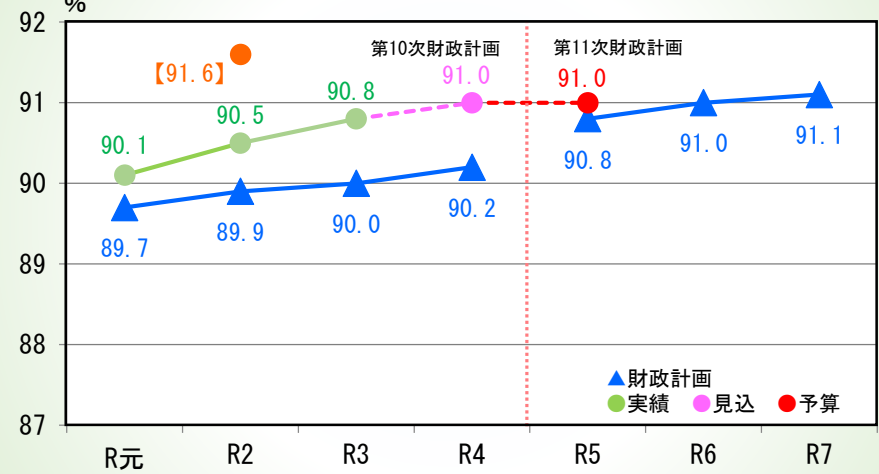
KPI (1)有効率 (%)

「給水された水がどの程度有効に使用されているかを示す。」



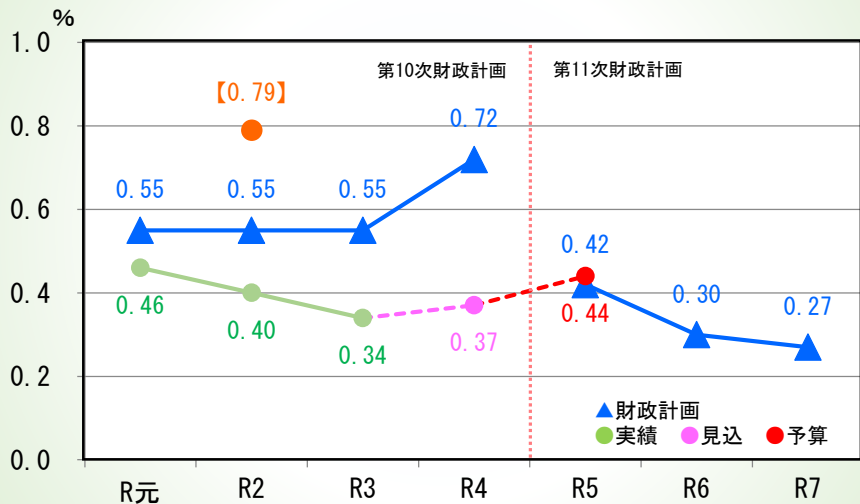
KPI (2)有収率 (%)

「給水された水がどの程度収益につながっているかを示す。」



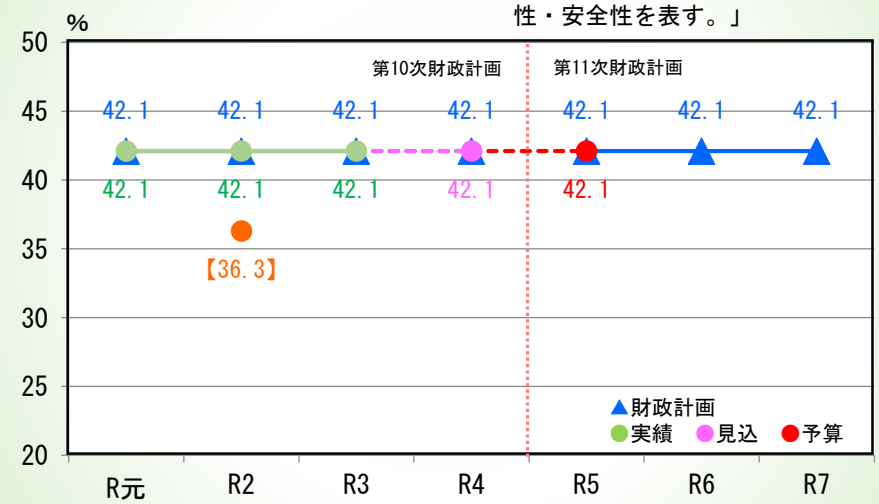
KPI (3)管路の更新率 (%)

「管路の更新ペースが把握できる。」



KPI (4)浄水施設の耐震化率 (%)

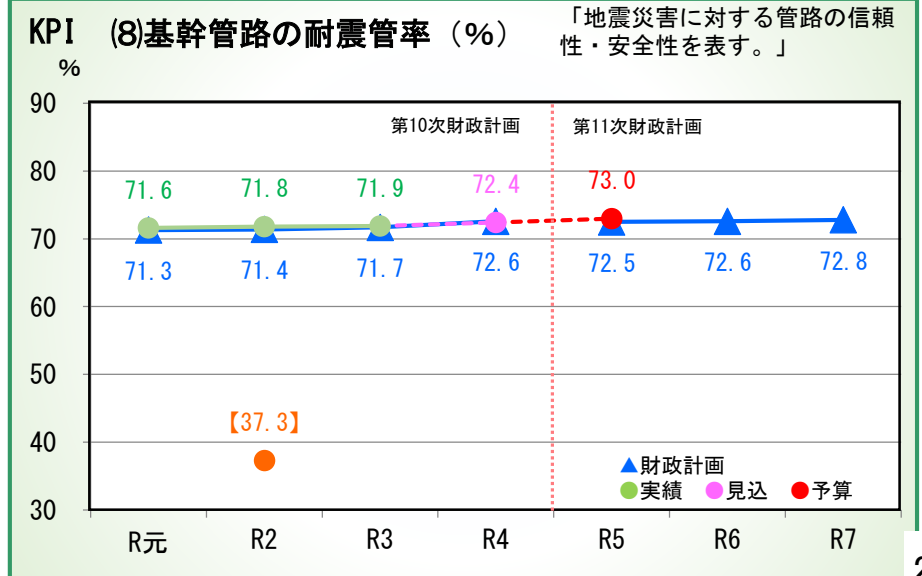
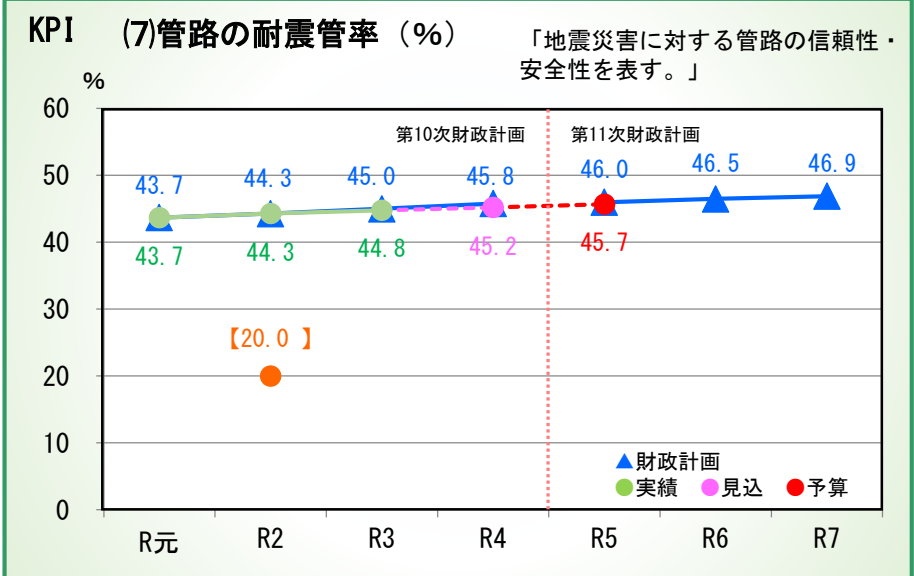
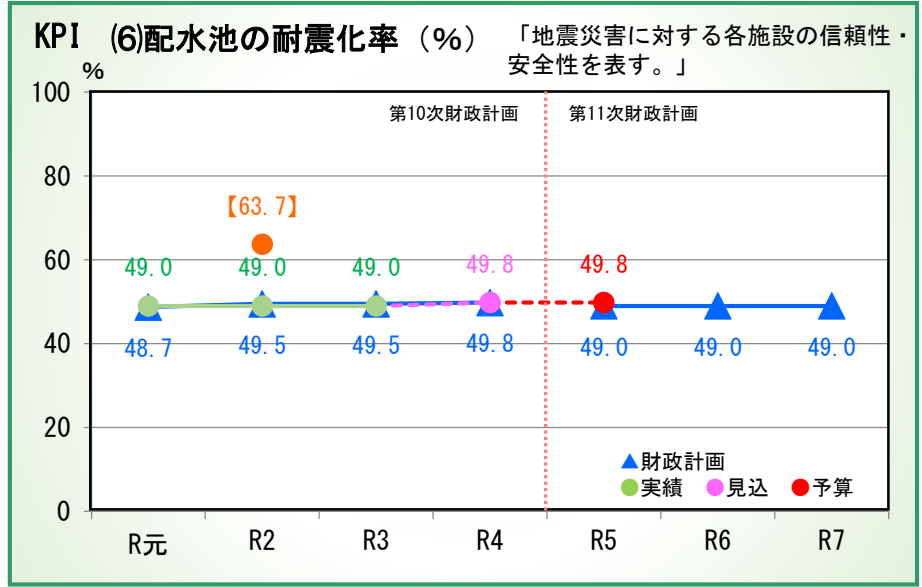
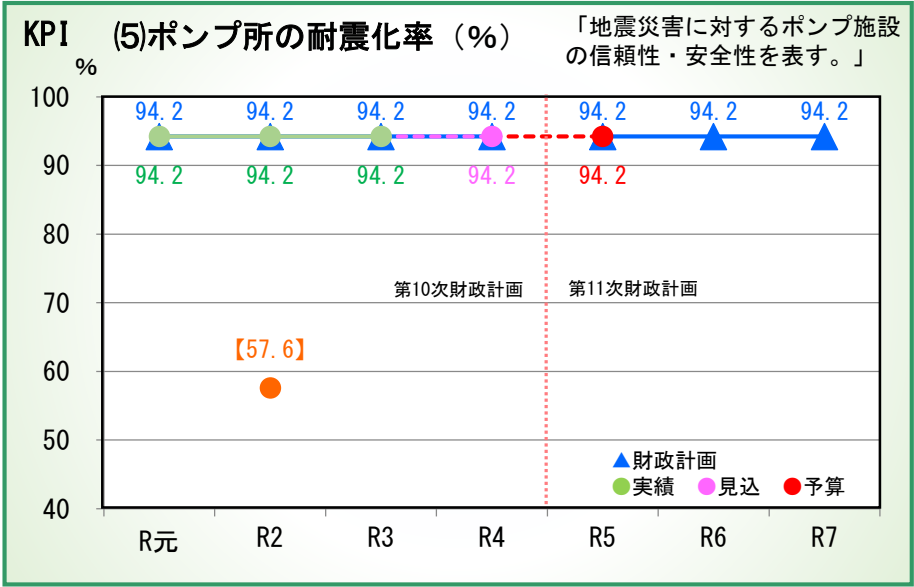
「地震災害に対する各施設の信頼性・安全性を表す。」



6. 財政計画比較

⑤指標比較

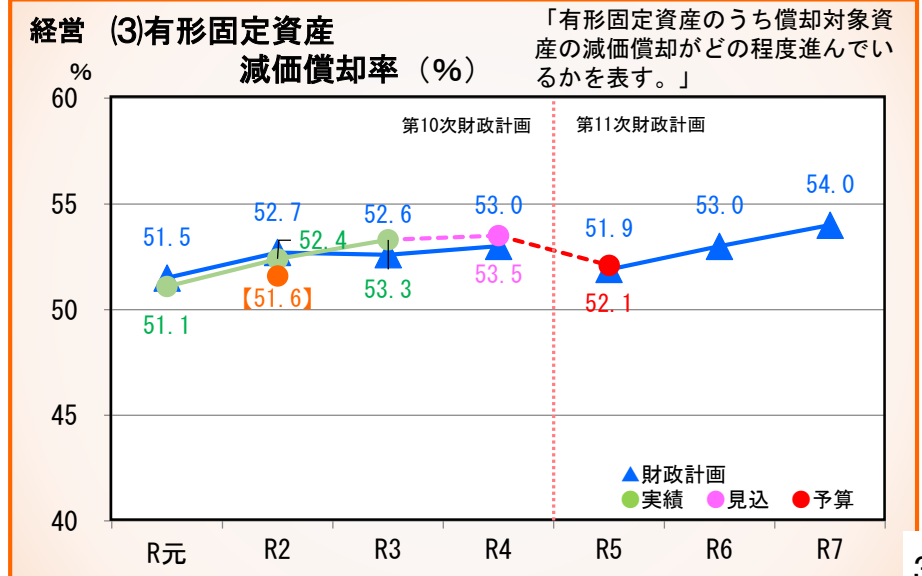
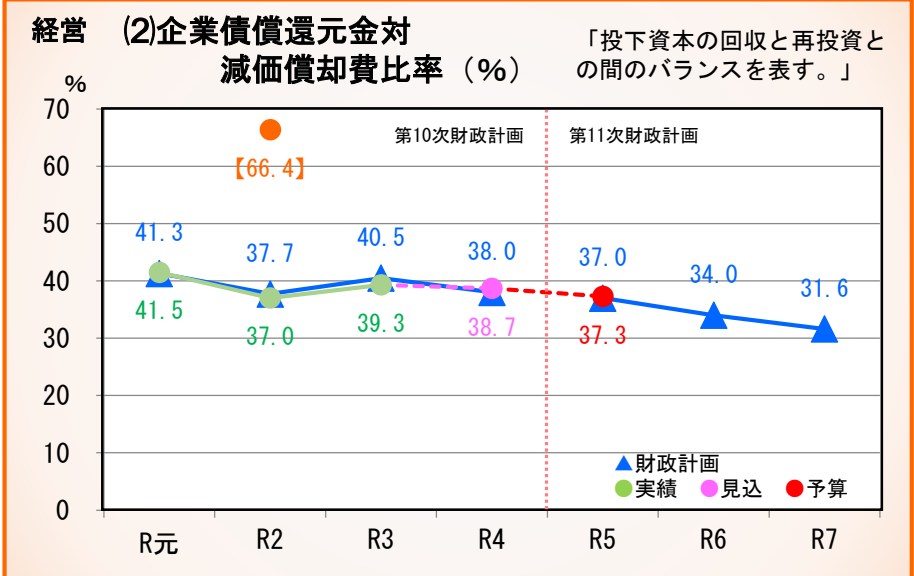
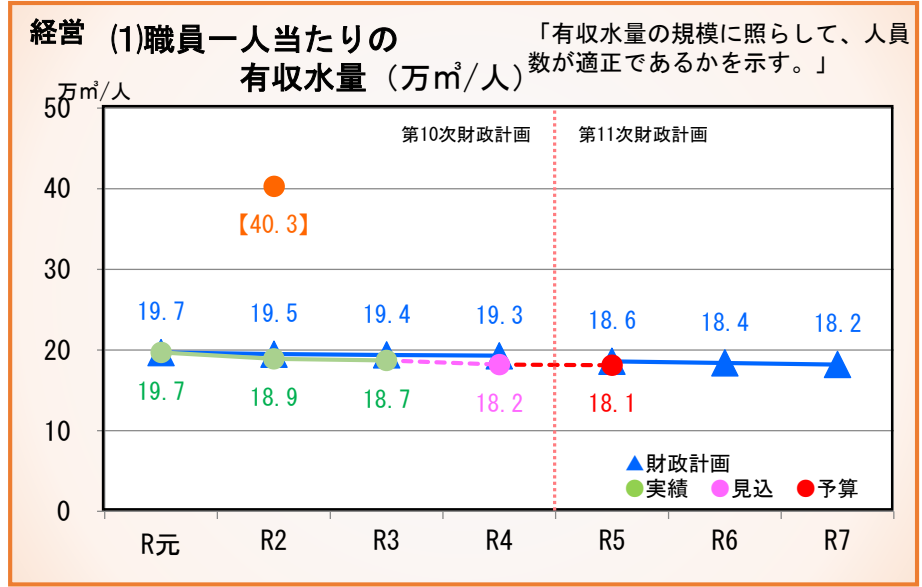
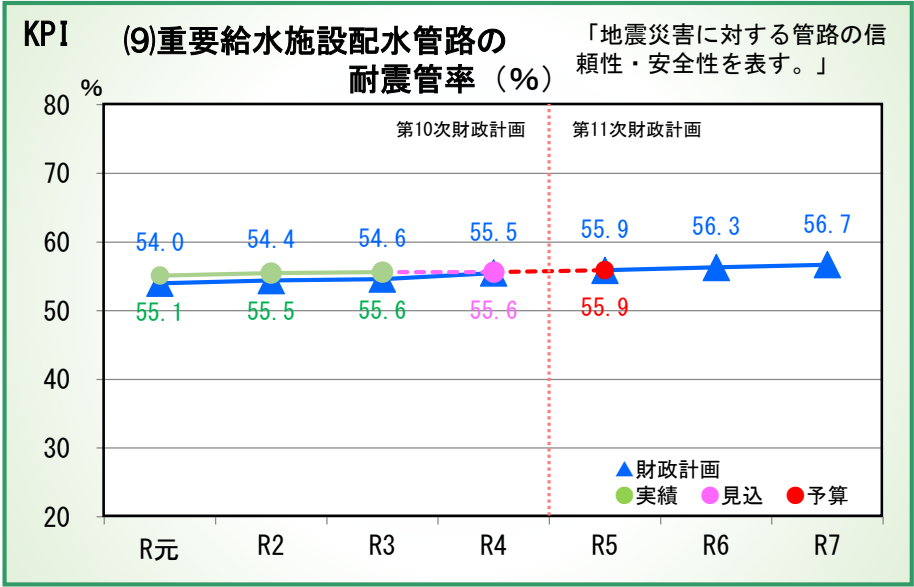
【●：令和2年度同規模平均】
給水人口30万人以上の末端給水事業
(政令指定都市を除く)50団体の平均
「企業年鑑・水道統計より」



6. 財政計画比較

⑤指標比較

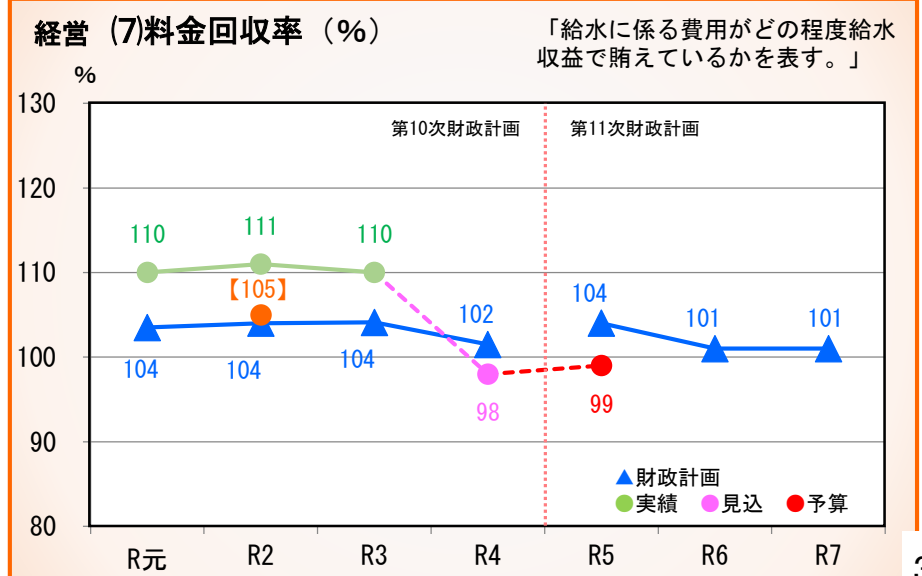
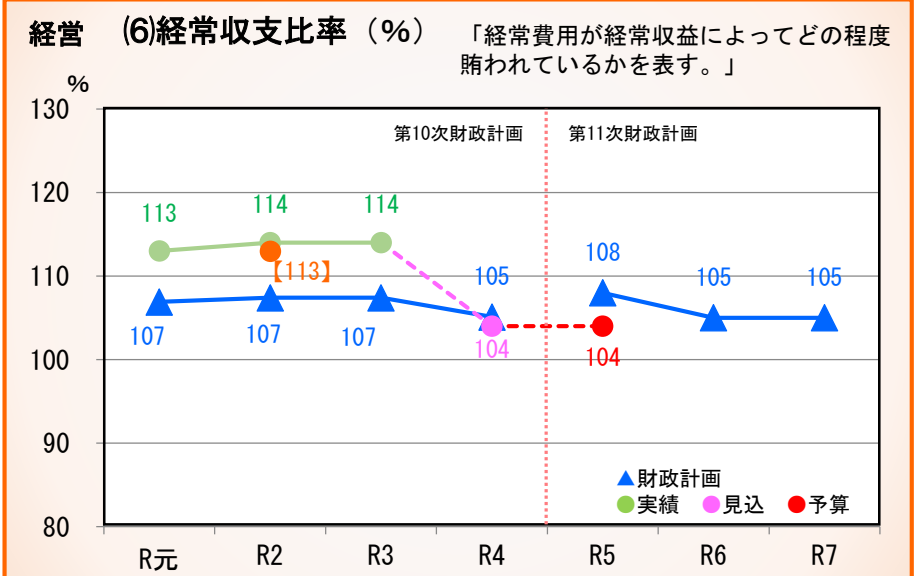
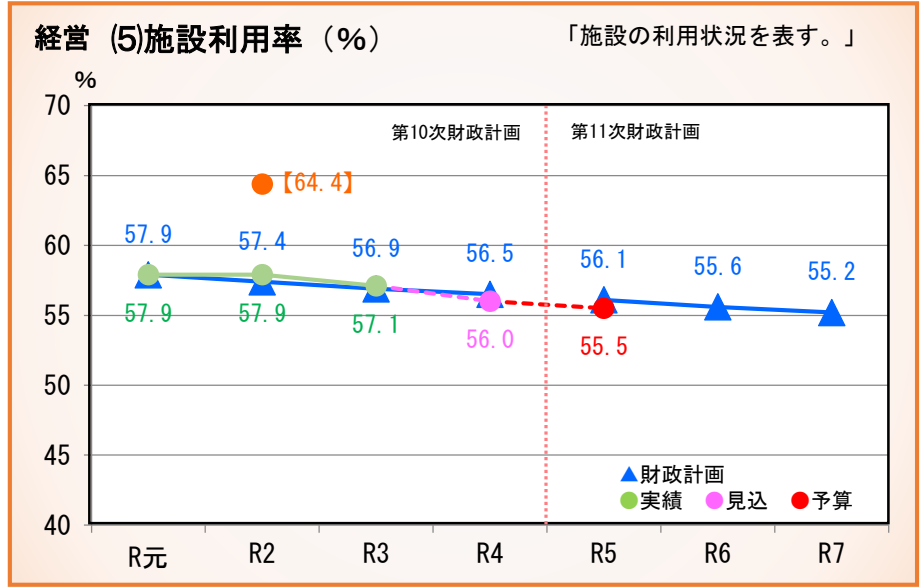
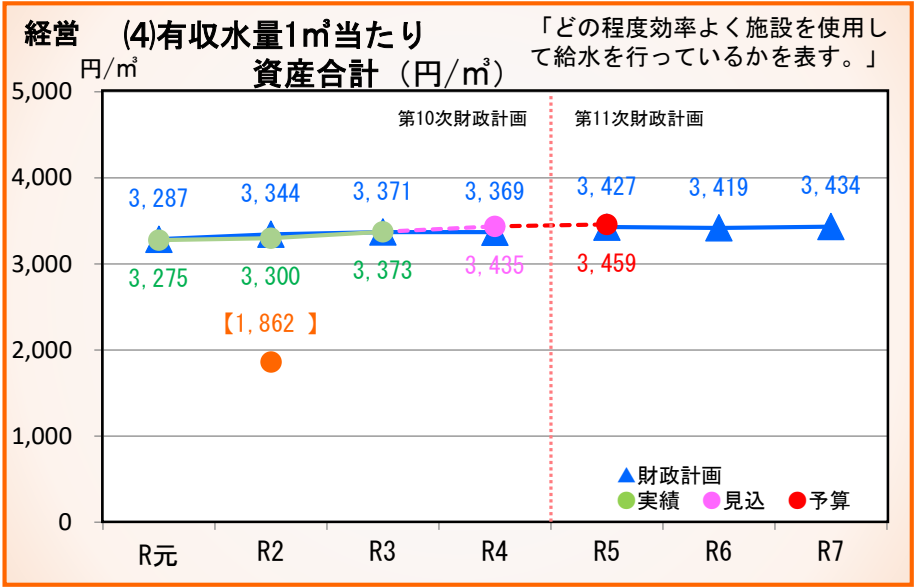
【●：令和2年度同規模平均】
給水人口30万人以上の末端給水事業
(政令指定都市を除く)50団体の平均
「企業年鑑・水道統計より」



6. 財政計画比較

⑤指標比較

【●】：令和2年度同規模平均
給水人口30万人以上の末端給水事業
(政令指定都市を除く)50団体の平均
「企業年鑑・水道統計より」

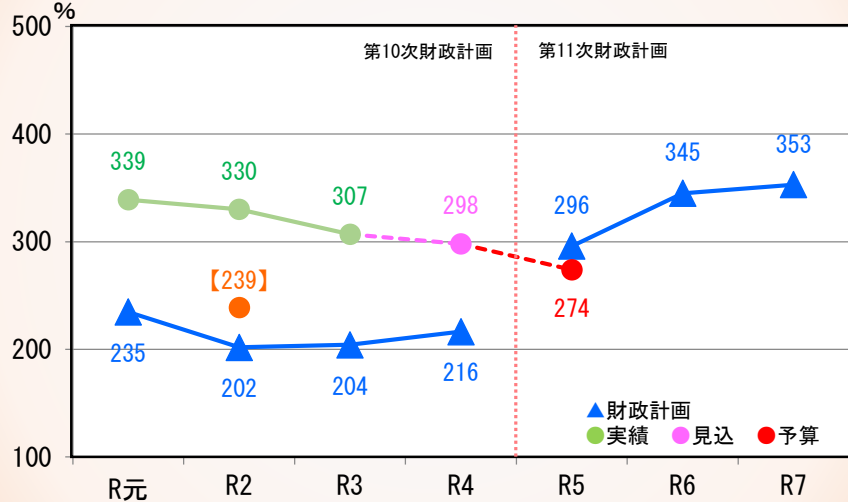


6. 財政計画比較

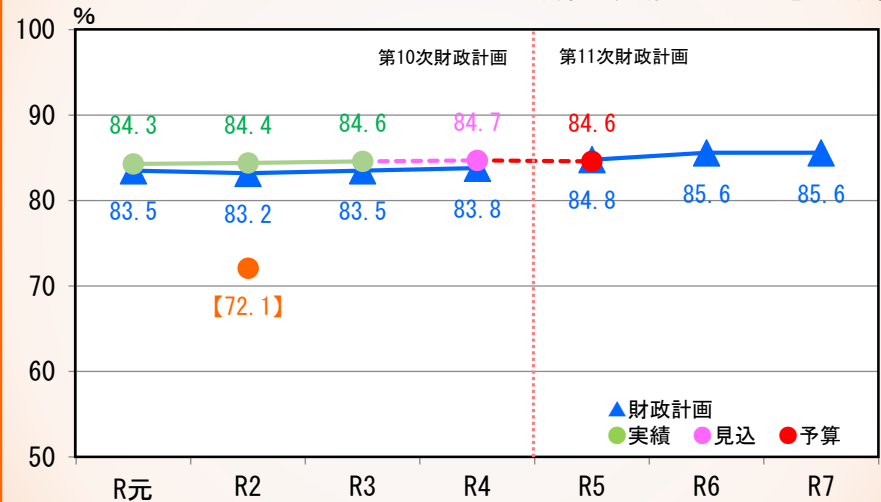
⑤指標比較

【●：令和2年度同規模平均】
給水人口30万人以上の末端給水事業
(政令指定都市を除く)50団体の平均
「企業年鑑・水道統計より」

経営 (8)流動比率 (%) 「短期的な債務に対する支払い能力を表す。」



経営 (9)自己資本構成比率 (%) 「財務の長期的な安全性を示す。」



令和5年度予算では、(6)経常収支比率、(8)流動比率は100%を超えており、安全性は確保されていると言えますが、(7)料金回収率は100%を下回り、水道料金で費用が賄えない状態が見込まれ、経営状況は厳しくなっています。